

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	社会学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 各課程別学位授与プロセスの再設定・周知・公表	→学位授与プロセスの再設定・周知・公表の有無	B	B	B	A	/
2. 博士学位キャンディデート取得後のフォローアップ体制の確立	→博士学位キャンディデート資格取得者数(入学定員の過半数)およびプロセスモデルと一致する学位取得者数	B	B	B	A	/
3. 専門社会調査士資格取得プロセスの明示・公表	→専門社会調査士資格取得者数(入学定員の過半数)および公表の有無	B	B	B	A	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	「社会学研究科後期課程博士課程取得プロセス<モデル>」について、大学院「授業科目履修心得/教育課程」に明示し、ホームページで公表している。
目標2	キャンディデート授与の要件に「博士学位申請論文構成概要書」を加え、このプロセスモデルに沿って2012年度には5名の博士学位授与者を出した。また、大学院生への指導および懇談の場として「ランチ・ミーティング」を隔週でもうけ、そのなかで大学院生への博士学位取得につながる研究業績の増加のためのサポート体制を検討している。
目標3	専門社会調査士資格取得プロセスについて大学院「授業科目履修心得/教育課程」において明示し、2012年度には3名の専門社会調査士を出した。
備考	